

令和7年度 瑞穂市立穂積小学校 研究構想

【瑞穂市教育大綱】

みずほを愛し みずほに誇りをもち みずほを担う人づくり かしくくて あたたかくて たくましい子

【学校の教育目標】

かしくくて あたたかくて たくましい子

- かしこい子**：自ら問題を発見し、学ぶ意欲をもちながら、考え行動する子（自立力）
- あたたかい子**：仲間との対話や活動を通して、仲間とのかかわり、認め合い、支え合う子（共生力）
- たくましい子**：健康な心と身体を育み、安全な生活を推進するとともに、よりよい生活を創り出す子（創造力）

【児童の実態】

- 「聞く」「話す」の基本的な学習習慣が身に付いている児童が多く、落ち着いて学習に取り組むことができる。
- 仲間との対話的な学習にも意欲的に取り組み、自分の考えを広めることができる。
- 自分の考えを根拠を基に、仲間に分かりやすく豊かに表現していく姿勢が育ちつつある。
- 既習事項や仲間からの意見を基に、自分の考えを振り返ることはできるが、それを踏まえて考えを深めたり、整理し直したりする力が十分に育っていない。

【研究主題】

主体的、対話的な学びを通して、**自らの学び**を実現する子
～「分かった」「できた」「参加できた」を実感する授業～

【学びが実現した児童の姿】

課題発見力：自ら問いを発見し、見通しをもって調べたり、考えたりしながら解決できる子

論理的思考力：学習課題に対し、解決の見通しをもち、各教科の見方や考え方を働かせたり、得た情報を分析したりしながら考えることができる子

表現力：考えを自分の言葉で伝えたり、根拠を明確にしたりしながら、豊かに表現できる子

実践力：自分の学習を振り返り、自分の考えを広めたり、深めたりするなどして、学びを自覚し、次の学習への意欲をもつことができる子

【研究仮説】

単位時間の役割やつながりを明確にした単元構造図を作成する。主体的・対話的に課題を解決するために、学習活動を工夫し、学びを自覚できるように教師が適切な指導・援助を行えば、「分かった」「できた」「参加できた」を実感し、自らの学びを実現する子が育つ。

【研究内容Ⅰ】単元構成の在り方

- ・ねらいや身に付けたい力を踏まえ、単位時間の役割やつながりをもとにした単元構造図の活用

【研究内容Ⅱ】学習活動や指導・援助の在り方

- （１）主体的・対話的な学びをつくりだすための学習活動の工夫 《一斉授業だけからの脱却》
 - ・自己選択の場の位置づけ
 - ・効果的なICTの活用
- （２）学びを自覚するための指導・援助の工夫